

徳島県小学校教育研究会道徳部会のあゆみ

- 昭和41年度
主題 道徳の時間において資料提出後の話し合いを有効なものにするにはどうすればよいか。
備考 道徳部会長 佐藤 丙八 紀要第6集発刊
研究大会(徳島市・千松小) 第1回四国大会(香川)
講師 広島大学教授 杉谷 雅文
- 昭和42年度
主題 効果的な指導過程はどうあればよいか。
備考 道徳部会長 松浦 恒一 紀要第7集発刊
研究大会(徳島市・昭和小) 講師 文部省教科調査官 井上 治郎
- 昭和43年度
主題 基本的行動様式の効果的指導法
備考 道徳部会長 須見 静雄 紀要第8集発刊
研究大会(小松島市・北小松島小 主題 価値の一般化)
講師 愛媛県教育委員会指導主事 越智 通敏
- 昭和44年度
主題 資料の学級化
備考 道徳部会長 須見 静雄 紀要第9集発刊
研究大会(三好郡・加茂小) 講師 文部省教科調査官 井沢 純
- 昭和45年度
主題 道徳的自覚を深める指導
備考 道徳部会長 大平 宗次 紀要第10集発刊 第3回四国大会(高知)
研究大会(那賀郡・鷲敷町) 講師 京都教育大学教授 村上 敏治
- 昭和46年度
主題 主題構想とその展開
備考 道徳部会長 大平 宗次 紀要第11集発刊
研究大会(鳴門市・林崎小) 講師 東京教育大学教授 高橋 進
- 昭和47年度
主題 主題構想とその展開
1年 子どもの実態を生かす主題構想はどうすればよいか。
2年 発問と板書の構想はどのようにすればよいか。
3年 作文資料の特質とそれを生かす主題構想はどうすればよいか。
4年 生活と価値の統一をめざす主題構想はどうすればよいか。
5年 伝記資料の特質とそれを生かす主題構想はどうすればよいか。
6年 文学資料の特質とそれを生かす主題構想はどうすればよいか。
備考 道徳部会長 森崎 正 紀要第12集発刊
研究大会(徳島市・助任小) 全体会 徳島市郷土文化会館大ホール
第4回四国大会と兼ねる。 講師 文部省教科調査官 井上 治郎
- 昭和48年度
主題 ひとりひとりを生かす道徳の時間の指導 一役割演技を中心として一
備考 道徳部会長 増本 治 紀要第13集発刊 徳島の道徳創刊
研究大会(海部郡・海南小) 講師 東京都町田市教育委員会
指導主事 江橋 照雄
- 昭和49年度

主題 ひとりひとりを生かす道德の時間の指導 一話し合いを中心として—
備考 道德部会長 増本 治 紀要第14集発刊 徳島の道德2集発刊
研究大会(麻植郡・鴨島小) 講師 京都教育大学教授 村上 敬治

○ 昭和50年度

主題 道德的な考え方や感じ方を深める指導
—共感的手法と批判的手法をどう生かすか—

備考 道德部会長 新野 大八 紀要第15集発刊 徳島の道德3集発刊
研究大会(美馬郡・穴吹小) 講師 前全国小学校道德教育研究会長 竹ノ内一郎
徳島県小学校「道德」の編集と資料研究の功績が認められ三木康楽賞受賞

○ 昭和51年度

主題 豊かな心を育てる道德資料の研究

備考 道德部会長 笹尾 忠夫 紀要第16集発刊 徳島の道德4集発刊
研究大会(那賀郡・羽浦小) 講師 文部省教科調査官 井沢 純

○ 昭和52年度

主項 心にのこる道德資料とその指導

備考 道德部会長 美馬 美登 紀要第17集発刊 徳島の道德5集発刊
研究大会(徳島市・福島小) 講師 信州大学教授 池尾 健一

○ 昭和53年度

主題 豊かな人間関係にねざした学級づくりのために、道德の時間の指導はどのように展開すればよいか。

備考 道德部会長 美馬 美登 紀要第18集発刊 徳島の道德6集発刊
研究大会(板野郡・北島北小) 講師 全国道德授業研究会副会長小沢 宣弘

○ 昭和54年度

主題 豊かな人間関係に根ざした学級づくりとかかわりあって、道德の時間の指導はどのように展開すればよいか。

備考 道德部会長 美馬 美登 紀要第19集発刊 徳島の道德7集発刊
研究大会(麻植郡・山瀬小) 講師 滋賀大学教授 村田 昇

○ 昭和55年度

主題 道德教育の全体計画と道德の時間の年間指導計画との関連の工夫について

備考 道德部会長 西条 文夫 紀要第20集発刊 徳島の道德8集発刊
研究大会(小松島市・北小松島小)

講師 埼玉県川口市立神根中学校長 小沢 一誠

○ 昭和56年度

主題 道德的実践の指導と道德の時間の指導との関連

・下学年 基本的行動様式の実践指導と道德の時間の指導との関連をどのように図ればよいか。

・上学年 学級集団づくりにかかわる実践指導と道德の時間の指導との関連をどのように図ればよいか。

備考 道德部会長 小原 亨 紀要第21集発刊 徳島の道德9集発刊

研究大会(那賀郡・阿井小) 講師 県教委指導課指導主事 桜井 正吏

この年度より小教研統一研究大会は隔年に実施することになった。第一年次は郡市単位で研究大会をもつ(裏年)。第二年次は同一郡市で統一研究大会をもつ(表年)。二年を単位とした研究体制が生まれ、昭和56年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 昭和57年度

主題 道德的実践の指導と道德の時間の指導の関連を、どのように図ればよいか。

第1分科会主題 生活目標を通しての道德的実践の指導と、道德の時間の指導との

関連をどのように図ればよいか。

第2分科会主題 特別活動や学校裁量の時間などにおける道徳的実践の指導と、道徳の時間の指導との関連を、どのように図ればよいか。

第3分科会主題 学級集団における道徳的実践の指導と道徳の時間の指導との関連を、どのように図ればよいか。

備考 道徳部会長 小原 亨 紀要第22集発刊 徳島の道徳10集発刊
研究大会(那賀郡・羽浦小) 講師 鳴門教育大学学長 前田 嘉明
第8回四国大会と兼ねる。

○ 昭和58年度

主題 道徳的実践を目指し、児童が主体的に取り組む指導の工夫

備考 道徳部会長 小原 亨 紀要第23集発刊 徳島の道徳11集発刊
研究大会(徳島市・24会場)
昭和58年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 昭和59年度

主題 道徳的実践を目指し、児童が主体的に取り組む道徳の時間の指導の工夫
—道徳的価値の主体的な自覚を図るための指導過程の研究—

備考 道徳部会長 小原 亨 紀要第24集発刊 徳島の道徳12集発刊
研究大会(徳島市・南井上小) 講師 千葉市立園生小学校長 三橋 富蔵

○ 昭和60年度

主題 道徳的実践を目指し、児童が主体的に取り組む道徳の時間の指導の工夫
—道徳的価値の主体的自覚を図るための評価—

備考 道徳部会長 小原 亨 紀要第25集発刊 徳島の道徳第13集発刊
研究大会(鳴門市・鳴門西小)
昭和60年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 昭和61年度

主題 道徳的実践を目指し、児童が主体的に取り組む道徳の時間の指導の工夫
—道徳的価値の主体的自覚を図るための評価—

備考 道徳部会長 小原 亨 紀要第26集発刊 徳島の道徳第14集発刊
研究大会(鳴門市・黒崎小) 講師 大塚製薬工場取締役人事部長 内田 英明

○ 昭和62年度

主題 これからの学校における道徳教育のすすめ方
—ひとりひとりを生かす道徳授業の創造—

備考 道徳部会長 森本 久男 紀要第27集発刊 徳島の道徳第15集発刊
研究大会(美馬郡・貞光小) 講師 徳島県教育委員会指導主事 笹田 博之
昭和62年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 昭和63年度

主題 これからの学校における道徳教育のすすめ方
—ひとりひとりを生かす道徳授業の創造—

備考 道徳部会長 森本 久男 紀要第28集発刊 徳島の道徳第16集発刊
研究大会(美馬郡・穴吹小) 講師 東京都渋谷区立大向小学校長 江橋 照雄

○ 平成元年度

主題 これからの学校における道徳教育のすすめ方
—豊かな心をもちたくましく生きる力を育てる道徳教育の指導計画—

備考 道徳部会長 中川 通 紀要第29集発刊 徳島の道徳第17集発刊
研究大会(徳島市・内町小・加茂名南小)
平成元年度は郡市大会にあたる裏年であった。

- 平成2年度
 - 主題 これからの学校における道德教育のすすめ方
—豊かな心をもちたくましく生きる力を育てる道德教育の指導計画—
 - 備考 道德部会長 笹田 博之 紀要第30集発刊 徳島の道德第18集発刊
研究大会(徳島市・新町小) 講師 石川県教育委員会管理主事 村井加代子

- 平成3年度
 - 主題 個性を生かす道德授業の創造
 - 備考 道德部会長 笹田 博之 紀要第31集発刊 徳島の道德第19集発刊
研究大会(名西郡神山町・下分小)
平成3年度は郡市大会にあたる裏年であった。
平成3年度 全国小・中学校道德教育研究大会徳島大会
第27回 全国小学校道德教育研究大会徳島大会
第12回 四国小・中学校道德教育研究大会徳島大会
徳島県小学校道德教育研究大会
期日 平成3年10月31日(木)～11月1日(金)
会場 第1日 徳島市加茂名南小学校
板野郡北島町立北島小学校
第2日 徳島県郷土文化会館
主題 大会主題 21世紀を拓くたくましい児童・生徒を育てる道德教育
小学校主題 人間としてよりよく生きる基礎を培う道德教育

- 平成4年度
 - 主題 個性を生かす道德授業の創造
 - 備考 道德部会長 板東 信夫 紀要第32集発刊 徳島の道德第20集発刊
研究大会(名西郡石井町・浦庄小)講師 松茂町教育委員会教育長 笹田 博之

- 平成5年度
 - 主題 自分のよさを発揮し、よりよい生き方を求める児童の育成
—道德の時間を中心として—
 - 備考 道德部会長 板東 信夫 紀要第33集発刊 徳島の道德第21集発刊
研究大会(那賀郡相生町・日野谷小)
平成5年度は郡市大会にあたる裏年であった。

- 平成6年度
 - 主題 自分のよさを発揮し、よりよい生き方を求める児童の育成
—道德の時間を中心として—
 - 備考 道德部会長 福永 脩 紀要第34集発刊 徳島の道德第22集発刊
研究大会(那賀郡・今津小) 講師 徳島大学教授 熊谷 正憲

- 平成7年度
 - 主題 互いのよさを認め合い、自己課題をもつ道德学習のあり方
 - 備考 道德部会長 福永 脩 紀要第35集発刊 徳島の道德第23集発刊
研究大会(麻植郡・鴨島小)
平成7年度は郡市大会にあたる裏年であった。

- 平成8年度
 - 主題 互いのよさを認め合い、自己課題をもつ道德学習のあり方
 - 備考 道德部会長 水野 正一 紀要第36集発刊 徳島の道德第24集発刊
研究大会(麻植郡・飯尾敷地小) 講師 松茂町教育委員会教育長 笹田 博之

- 平成9年度
 - 主題 一人一人のよさを生かし、生きる力を育む道德教育
 - 備考 道德部会長 水野 正一 紀要第37集発刊 徳島の道德第25集発刊
研究大会(徳島市・一宮小)

平成9年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 平成10年度

主題 一人一人のよさを生かし、生きる力を育む道德教育

備考 道德部会長 渡邊 貞代 紀要第38集発刊 徳島の道德第26集発刊
研究大会(徳島市・大松小) 講師 押谷 慶昭先生

○ 平成11年度

主題 自らの思いを表現し、生きる力を育てる道德教育
—体験活動を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 渡邊 貞代 紀要第39集発刊 徳島の道德第27集発刊
研究大会(海部郡・海南小)
平成11年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 平成12年度

主題 自らの思いを表現し、生きる力を育てる道德教育
—体験活動を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 渡邊 貞代 紀要第40集発刊 徳島の道德第28集発刊
研究大会(海部郡・海南小) 講師 水野 正一先生

○ 平成13年度

主題 豊かな心を持ち、よりよい生き方を求める子どもをはぐくむ道德教育
—体験を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 瀧 雄司郎 徳島の道德第29集発刊
平成13年度より県小学校道德教育研究大会が四年おきに開催されることになった。第一・二年次は県全体で研究に取り組む。第三年次は郡市大会をもつ(裏年)。第四年次は研究大会をもつ(表年)。四年を単位とした研究体制が生まれ、平成13年度は県全体で研究に取り組んだ。

○ 平成14年度

主題 豊かな心を持ち、よりよい生き方を求める子どもをはぐくむ道德教育
—体験を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 瀧 雄司郎 徳島の道德第30集発刊
平成14年度は県全体で研究に取り組んだ。

○ 平成15年度

主題 豊かな心を持ち、よりよい生き方を求める子どもをはぐくむ道德教育
—体験を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 瀧 雄司郎 紀要第41集発刊 徳島の道德第31集発刊
研究大会(鳴門市・林崎小・里浦小)
平成15年度は郡市大会にあたる裏年であった。

○ 平成16年

主題 豊かな心を持ち、よりよい生き方を求める子どもをはぐくむ道德教育
—体験を生かした心に響く道德の時間—

備考 道德部会長 鈴木 紘 紀要第42集発刊 徳島の道德第32集発刊
研究大会(鳴門市・里浦小) 講師 押谷 由夫先生